2020年		ν/ p-1   =	→ <del></del>								
マンガ	<u></u> 日本工作 ・アニメー	学院八王									
<u>```</u> 作画基础		<u> </u>	, –,								
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	45	単位	1
 旦当教員	杦浦正一郎	3		実務経験	有	職種	背景美術				
受業概要				性歌							
到達目標	1) 1° 7	*17 A 2 +3	司星な世	キレノマゼ		· 关係	2字の佐	<b>ポポッキ</b> ス	F 5.17	+> Z > L	
票とする。	ハパースを基	と(ご色々な)	<b>虬</b> 京を描る	さレイナリ	/ 卜 作画	、美術記	対形の作	<b>以かでさる</b>	よりに	なること	: を目
受業方法	講師のデモン	- 1 2		3 1 1 1 2 A	→ FL \						- 7
え 検討に	方法										
	方法 来と提出を終	会合的に評価	価する。和	責極的な授	受業参加	度、授業	美態度も	評価に加え	る。		
成績評価。 果題の出 履修上の複	来と提出を総	会合的に評価	価する。和	責極的な授	受業参加	度、授業	美態度も	評価に加え	る。		
果題の出 履修上の記 学生間・調	来と提出を総	)コミュニ								語や受講	:態度
環修上の注 を生間・ご などにはご	来と提出を総 主意 教員と学生の 厳しく対応す	)コミュニ								語や受講	能度
果題の出 愛修上の記 全生間・記 よどには記 教科書教	来と提出を総 主意 教員と学生の 厳しく対応す	)コミュニーる。	ケーション	ノを重視す	↑る。キ	ャリア用	ジ成の観	点から授業		語や受講	能度
果題の出 履修上の 学生間・ よどには 教科書教	来と提出を終 主意 教員と学生の 厳しく対応す	)コミュニーる。	ケーション	ノを重視す	する。キ	ャリア用	ジ成の観	点から授業		語や受講	態度
果題の出 愛修上の 学生間・選 学生には 教科書教 フロッキ	来と提出を約 主意 数員と学生の 数しく対応す 村 一帳3~4Bの 背景	)コミュニーる。	ケーション	ノを重視す	する。キ	ャリア刑	ジ成の観	点から授業		語や受講	能度

第2回

第3回

遠近法(2)

2020年度	日本工学院八王子専門学校
	ニメーション科 アニメコース
作画基礎1	
第4回	遠近法(3)
第5回	遠近法(4)
第6回	スケッチ自然物
第7回	クリンナップ(1)
第8回	クリンナップ(2)
第9回	室内パース(1)
第10回	室内パース(2)
第11回	レイアウト
第12回	デザイン
第13回	背景とキャラクター
第14回	背景制作実践
第15回	前期まとめ

#### 日本工学院八王子専門学校 2020年度 キャラクターデザインコース マンガ・アニメーション科 作画基礎1 対象 開講期 単位 1年次 前期 区分 必 種別 実習 時間数 45 1 田中良太 実務 デッサン指導員 職種 担当教員 有 経験

# 授業概要

前半は鉛筆の使い方から陰影の法則、基本的な形態のデッサンを反復し、しっかりと基本を身につける。 後半は応用的課題で身につけた基礎を確認する。基本的に2週で1課題というペースで授業を進める。

## 到達目標

紙という二次元に鉛筆によって三次元空間を表現するための様々な技術を身につけ、しっかり物を見る力を培い、表現できるようになることが目標である。

# 授業方法

鉛筆やその他の描画画材で、設置されたモチーフ、風景、人物などを画用紙に描写する。応用編としてモチーフのない想定課題も実施する。授業内容は都合により事前連絡の上で変更される場合がある。

### 成績評価方法

①出席率(全体の75%以下は不合格判定)、②作品提出率(全体の70%以下は不合格判定)、③講評時の出席

## 履修上の注意

忘れ物をしないこと。課題提出締め切り日は守ること。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。作画は量なので、多く描けるように努力すること。

### 教科書教材

入学時に購入したデッサン参考書などを個人で参照する資料として活用する。授業では特に教科書に沿った内容は実施しない。

回数	授業計画
第1回	ガイダンス
第2回	静物デッサン①
第3回	静物デッサン②

2020年度 日本工学院八王子専門学校				
マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース				
作画基礎 1				
第4回	静物デッサン②			
第5回	静物デッサン③			
第6回	静物デッサン③			
第7回	細密デッサン			
第8回	細密デッサン			
第9回	人物デッサン①			
第10回	人物デッサン①			
第11回	自画像①			
第12回	自画像①			
第13回	想定デッサン①			
第14回	風景デッサン①			
第15回	風景デッサン①			

2020年度	日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科 マンガコース

# 作画基礎1

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	福島その子			実務 経験	有	職種	漫画家				

# 授業概要

ClipStudioPaintでの基礎的な使用方法を理解し、漫画制作において必要な技術を理解、習得できるようになる。現在の漫画業界で求められている技術、作品を意識し、作品制作をできるようになるよう理解するのが狙いである。

# 到達目標

マンガ、イラストを制作する上での基礎技術を身につけ、それらの技術を使って様々な職種、企業に求められている作品を理解し、応用した作品を制作できるようになることを目標としている。

# 授業方法

授業冒頭で説明されたCLIPSTUDIOPAINTの技術を使って作品制作を行う。制作の中で自分の作品傾向を理解し、それぞれに方向性を考え作品作りを行う。

# 成績評価方法

課題作品の評価と授業態度による。

# 履修上の注意

出席率、課題の提出を重視する。授業中のインターネット及びスマートフォンの使用は禁止する。必要な場合は適宜許可を取ること。

### 教科書教材

必要に応じて資料を配付。

回数	授業計画
第1回	CLIPSTUDIOPAINT基礎。CLIPSTUDIOPAINTの基本的な機能の復習
第2回	レイヤー構造。レイヤー構造について理解する。下描きを線画に起こし課題提 出。
第3回	トーンと効果。トーンと特殊効果について理解する。前回の線画にトーンを貼り 課題として提出。

2020年度	日本工学院八王子専門学校
マンガ・アン	ニメーション科 マンガコース
作画基礎 1	
第4回	コマ割りと写植。コマ割りと写植の方法について理解する。 1 Pを課題として提出。
第 5 回	1コマ漫画制作①。前回コマを割ったものから1コマ作画をする。特殊効果を入れる。
第6回	1コマ漫画制作②。前回コマを割ったものから1コマ作画をする。特殊効果を入れる。課題提出。
第7回	食べ物作画。食べ物の写真をトレスして線画に起こす方法を理解する。課題提 出。
第8回	背景作画①。一点透視を使った背景の描き方を理解する。課題提出。
第9回	背景作画②。二点透視を使った背景の描き方を理解する。課題提出。
第10回	背景作画③。背景写真をトレスして線画に起こす。課題提出。
第11回	1 P漫画制作①ネーム。写真トレス、一点または二点透視をそれぞれ使った漫画のネームを作成する。
第12回	1 P漫画制作②ネーム。写真トレス、一点または二点透視をそれぞれ使った漫画のネームを作成する。
第13回	1 P漫画制作③制作。ネームを作画する。
第14回	1 P漫画制作④制作。ネームを作画する。
第15回	1 P漫画制作⑤制作。ネームを作画する。課題提出。